

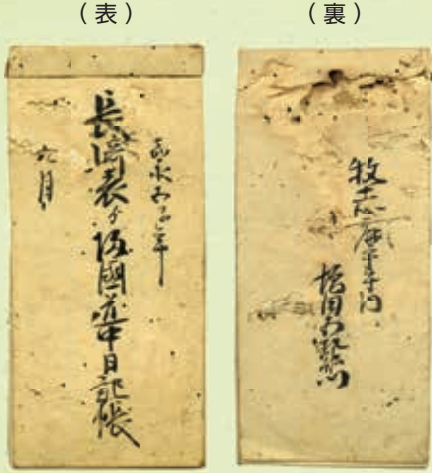
行田歴史系譜 335

資料がかたる 行田の歴史 35

長崎奉行に仕えた男、堤根村・増田五左衛門

郷土博物館の収蔵品の中に「長崎表より帰国道中日記帳」と題する一冊があります。嘉永5年（1852）9月に日記の筆をとった人物は、忍藩領の堤根村の名主を務める家柄の増田五左衛門です。裏表紙には「牧志摩守内増田五左衛門」とあることから、五左衛門は長崎奉行・旗本牧義制に仕える家臣であったこととなります。牧氏はジョン万次郎を取り調べた人物でもあります。どのような経緯で五左衛門は長崎奉行に仕官したのでしょうか。彼の綴った日記から読み解きましょう。

日記は9月23日、牧義制が奉行の役目を終えて長崎から江戸に向け出立する日から始まります。すでに五左衛門



長崎表より帰国道中日記帳（郷土博物館蔵）

は牧氏の供連れ行列に百姓として加わっていたようです。

状況が一変するのが翌24日のこと。午前6時ごろに出立するはずが、中小姓1人・徒士2人・中間1人が突如として出奔してしまい、牧氏の供連れに大幅な欠員が生じてしまったのです。そこで急遽、牧氏の家臣として徒士を命じられたのが五左衛門でした。村役人として幅広い教養を備えていたからこそ、その抜擢だったのでしょう。

それから一行は中国街道、東海道を経て、11月3日には江戸の飯田町（現東京都千代田区）に到着しています。長崎を出発してから実に40日目のことでした。数日間旗本屋敷で用務を遂げた後、同日6日に五左衛門は主君の牧氏に対して暇願いを提出します。もとより供連れの欠員を補うために召し抱えられた身であり、役割を全うした末の円満退職であったといえるでしょう。たとえ40日程であっても長崎奉行に仕えた証を遺そうとした五左衛門の思いが裏表紙の記載に顕れているのかもしれない。

（郷土博物館 澤村怜薫）

はじめまして

令和3年2月生まれのおともだち



細谷 芽里ちゃん（門井町）  
令和3年2月3日生まれ  
父・充さん 母・詩織さん  
「めいちゃん大好きだよ！  
元気に育ってね！」



片桐 由暖ちゃん（門井町）  
令和3年2月2日生まれ  
父・崇宏さん 母・綾美さん  
「楽しく幸せな毎日☆」



宮尾 柊希ちゃん（長野）  
令和3年2月4日生まれ  
父・和希さん 母・美砂さん  
「健やかに育ちますように♡」



小沢 梨心ちゃん（富士見町）  
令和3年2月24日生まれ  
父・卓也さん 母・千明さん  
「これからもたくさん  
笑顔と成長を見せてね！」

令和3年4月生まれのお子さんを募集します

- 2月1日(火)～28日(月)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、3月2日(水)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



高橋 琥珀ちゃん（和田）  
令和3年2月10日生まれ  
父・彩及さん 母・藍如さん  
「毎日幸せをありがとう！  
こはたん大好きだよ♡」

今月の表紙

1月9日、産業文化会館ホールで「令和4年行田市新成人を祝う会」が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、午前と午後の2部制で行われました。当日は天候にも恵まれ、会場内はたくさんの喜びでにぎわい、新成人たちは、大人としての自覚を持って式に参加をしているようでした。



現在の友だち登録数27,600人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

●市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい 植物油インク

市報ぎょうだは再生紙を使用しています